

ふくい経済トピックス（高齢化編）

平成 23 年の福井県の推計人口（平成 23 年 10 月 1 日現在）が先日発表され、803,216 人と前年に比べ 3,098 人の減少となりました。

前年と比較した特徴を見ると、「出生数の微減」、「死亡数の増加」、「県外からの転入は横ばい」、「県外への転出の減少」と、この 10 年で初めて「自然動態」の減少（△1,885 人）が「社会動態」の減少（△1,213 人）を上回っています。

そこで、今回は人口の高齢化について掘り下げてみましょう。

〈新たなマーケットの誕生〉

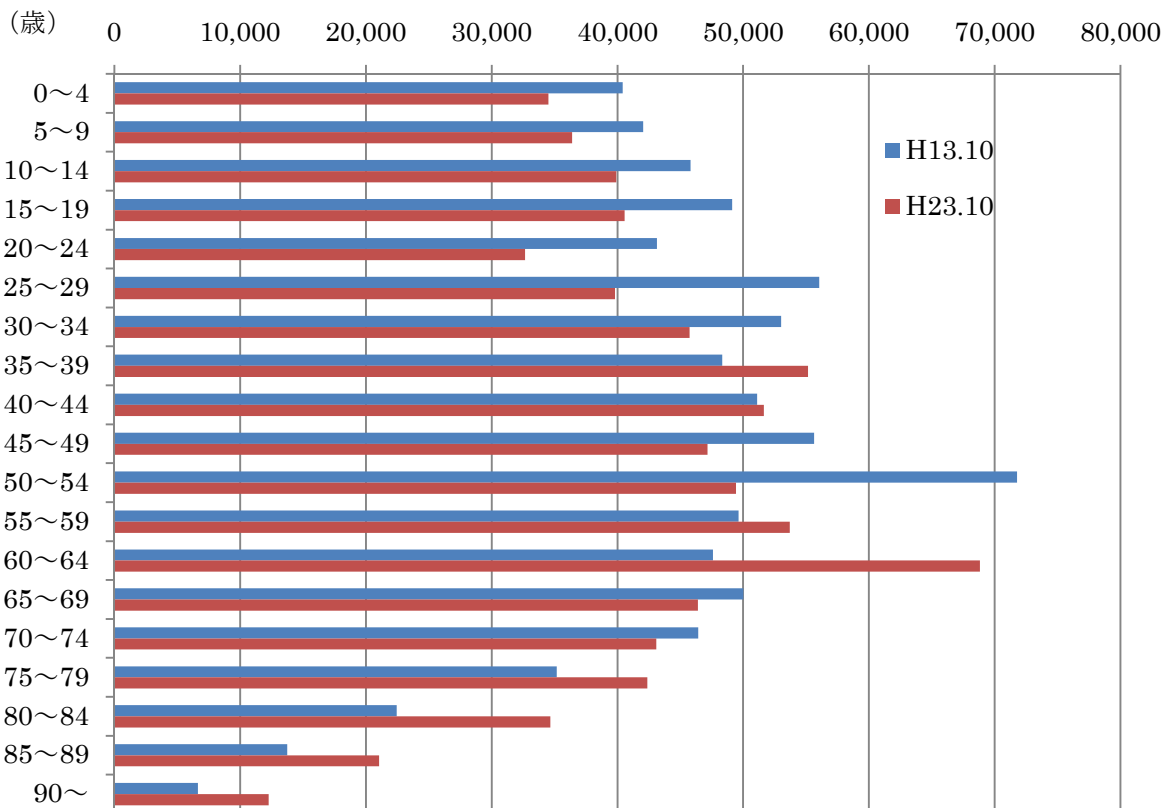
「少子高齢化」という言葉が聞かれ始めてから長い時間がたちますが、人口構成の変化は「消費市場の変化」に密接につながり、縮小一方ではなく新たな市場も誕生していくので、しっかりと顧客層を絞って、その意識を的確に捉えていく必要があります。

福井県の 5 歳階級別人口を表したのがグラフ 1 ですが、団塊の世代と呼ばれる「60～64 歳」の層が 68,830 人と飛びぬけて多いことがわかります。

(グラフ 1)

福井県の年齢（5 歳階級）別人口

(人)



「0～4歳」の層(34,526人)と比べると約2倍になっており、これから定年退職を迎え、余暇を満喫しようという大きなマーケットが誕生することが期待できます。

この世代は、戦後生まれで高度経済成長やバブルも経験し、「当時憧れはあっても手が出なかったスポーツカーに乗ってみたい」とか「海外旅行に行きたい」など、時間とお金の余裕が生まれて、さあこれから楽しもう、という意欲を持っています。知的な好奇心も高く、この世代に向けた商品開発、提案に加え、的確な情報発信により新たな市場に育てることができるのではないのでしょうか。

この「団塊の世代」に加え団塊ジュニア世代と呼ばれる「35～39歳」のライフスタイルにも注目しておく必要があります。団塊世代の次に大きな市場で、結婚、出産、子育て、介護、という人生の大きな転機を迎える時期でもあり、そんな場面の解決サポートが商品開発のヒントです。

〈求められる新たなサービス〉

また、団塊の世代に加え、高齢者というよりアクティブシニアと言われる元気なお年寄りの増加も、新たな消費の担い手としてしっかりと捉えていく必要があります。

高齢化の進展によって、福井県内でも医療、介護、福祉分野の企業、従業員数の増加は著しく、新たな市場への対応が進んでいますが、一方で、元気な高齢者向けのサービス商品の開発は始まったばかりで、今後需要を作り出す取り組みが求められます。

表1は、国勢調査時の65歳以上の年齢別福井県人口を紹介したのですが、平成13年と23年を比較すると、10年間で25,427人増加していますし、65歳以上の人口が、既に、福井県の1/4を占めていることが分かります。

(歳)	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
H8.10	50,057	39,434	27,741	20,237	10,439	4,019	151,927
H13.10	50,007	46,434	35,183	22,451	13,754	6,644	174,473
H18.10	45,761	46,842	41,422	29,100	16,115	9,741	188,981
H23.10	46,411	43,105	42,383	34,674	21,057	12,270	199,900

今後ますます拡大する高齢者市場に向け、「健康維持」や「学び」、「交流」といった関心の高い分野の機会づくりが新たなビジネスにつながっていくのではないのでしょうか。

〈変化はチャンス〉

一方で、亡くなる方が増えていることも現実として捉える必要があります。表2は、この10年間の福井県内の出生数と死亡数を表したのですが、亡くなる方の数が約2千人増加しています。

最近、葬儀場や新たに葬儀サービスに取り組む企業も多く見られますが、遺品整理業が映画でも取り上げられるなど葬儀に関連した多様なサービスも求められてきています。

また、高齢者の独り暮らしや高齢者だけの家庭が増加し、安全や安心につながるサービス、年金生活でのやりくり方法や資産管理など、まだまだいろいろなニーズがありますし、環境変化によってニーズは更に多様化していくことが予想されます。

少子高齢化という人口構造の変化は、市場の縮小だけでなく新たなマーケットも生みだします。変化によって失われる市場ばかりを見ていると的確な対応はできません。

その変化と対象となる顧客の意識や志向をしっかりと捉えたサービス商品の開発が、これからのビジネスに必要な視点ではないでしょうか。

平成 年	出生総数	死亡総数	自然増加数
13	7,944	6,874	1,070
14	7,922	7,030	892
15	7,660	7,251	409
16	7,372	7,411	△ 39
17	7,287	7,731	△ 444
18	7,266	7,862	△ 596
19	7,265	7,765	△ 500
20	7,316	8,210	△ 894
21	7,202	8,172	△ 970
22	6,938	8,399	△ 1,461
23	6,895	8,780	△ 1,885

(福井商工会議所所報 平成24年5月号掲載)